

投光器 学習版

国労東海貨物協議会
2012年3月10日 No.5
発行責任者 鈴木 和巳

前号は「春闘」についてでしたが、今回は少し掘り下げて説明します

自らの給料に関心を持とう！ なぜ労働組合は「ベア」を求めるのか？

まず「ベア」とは何かから説明しましょう。ベアは「ベースアップの略」です。と言われてもそれが何か分からない方もいると思いますので「定期昇給」とともに少し丁寧に説明しましょう。

私たちの給料はどのようにして上がるのかを説明します。賃金規定によると、昇給は4月に4号俸以内で実施するとあります。現在貨物会社の初任給は高卒で入ると1等級16号俸（141,800円）から始まり、2年目の4月には1等級20号俸と1年で4号俸ずつ昇給します。この同一等級での4号俸ずつの昇給を「定期昇給」といいます。



但し、1～2、2～3等級への昇格があった場合は現号俸から4号俸上がった金額の直近上位の金額の号俸になります。(昇進・昇格については今後説明していきたいと思います)

それに対し「ベア」とは基準となる基本給そのものが上がるものです。簡単に言えば、100円のベースアップがあれば1等級16号俸（141,800円）は141,900円になります。しかし、たかが100円と思うなかれ、この100円は退職するまで続きます。一般的に基本給のベースが上がるということは退職金にまで影響し、生涯賃金が増えることから経営側はベースアップを嫌い、業績に連動させた期末手当等での支払いに収めようとしています。業績連動にしておけば業績が悪いときは支払わないという理屈です。国労としては一時の手当でなく基本給そのものを上げていくことが労働者の生活の安定に繋がると考えています。しかしながら現在の貨物会社の状況はどうでしょう？ かくらうじて定期昇給は維持されていますが、ベアは12年連続で行われていません。



国労としては一時の手当でなく基本給そのものを上げていくことが労働者の生活の安定に繋がると考えています。しかしながら現在の貨物会社の状況はどうでしょう？ かくらうじて定期昇給は維持されていますが、ベアは12年連続で行われていません。

今こそ「ベア」を勝ち取らないと大変なことになるぞ！

国労東海貨物協議会は3月2日に「春闘学習会」を行い、「健保値上げと社会保障」について学習を行いました。あまり知られていませんが今年からJR健保の掛け金が上がり、更に来年、再来年と値上げされます。また、年金の問題も今後の若い世代には大きな負担が申し掛かろうとしており、消費税の値上げも検討され実質の生活水準はどんどん低下する方向に動いています。若い世代では1号俸が1,000円前後であり、ベースアップがないと様々な負担増に立ち向かえません。5年～10年後に結婚を考えた場合、貴方は今の給料で生活できますか？今こそ真剣に考えないといけません。



社員犠牲による経営で厳しい生活を強いられている貨物労働者の皆さん！
春闘真っ只中の今、貨物本社に対し声を上げよう！